

鮎

TAKUSUI

3

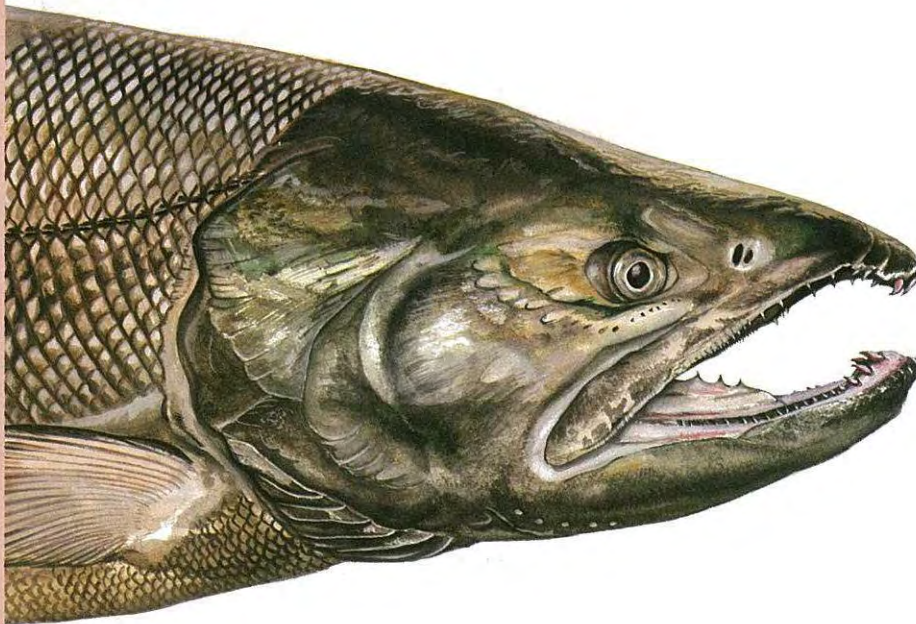
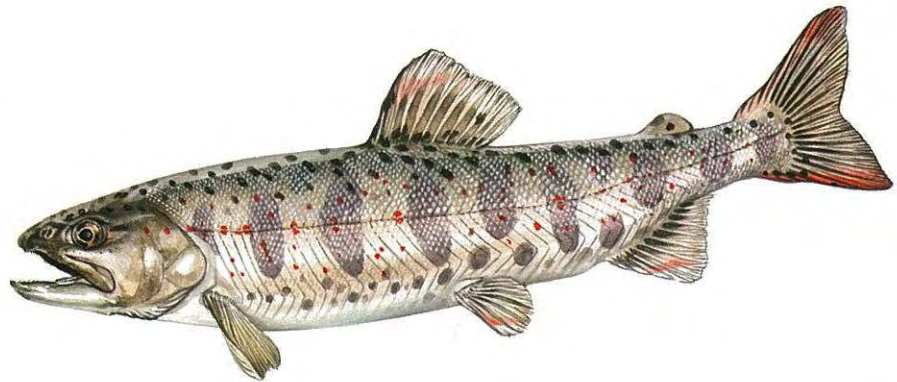
2004年 March

No.569

ホントに知っている?

こっそり覚えよう!
兵庫のさかな イイダコ

ウチの漁協! JF南淡



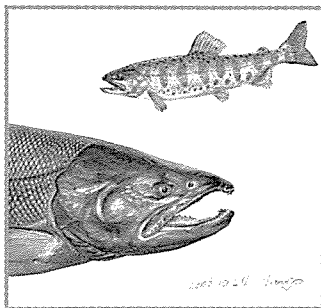
2003.10.24. Hongo

禁無断転載

CONTENTS

- 2 旬に想う
ネコが来る
表紙のことば
「アマゴ」「シロザケ」
- 3 「但馬地区漁業協同組合併推進協議会」設立
- 4 フリースペース our hour
キャンペーン情報
誕生!ロードサービス付マリンクレジット
- 6 News
兵庫のり消費拡大キャンペーン
全国育樹祭・エキスパック
- 8 WTO情報
FTA交渉は食料自給率の低下を加速
- 9 TOPICS
行事予定
各地のおもなイベント情報
- 10 兵庫JCC通信
- 11 ホントに知ってる?こっそり覚えよう! 兵庫のさかな
イダゴ
こちら海です
- 12 ウチの漁協

表紙のことば



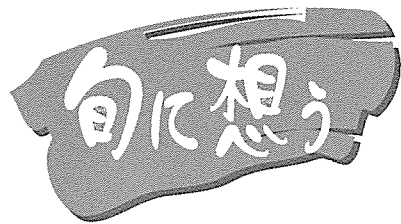
今月の表紙

「アマゴ」
「シロザケ」

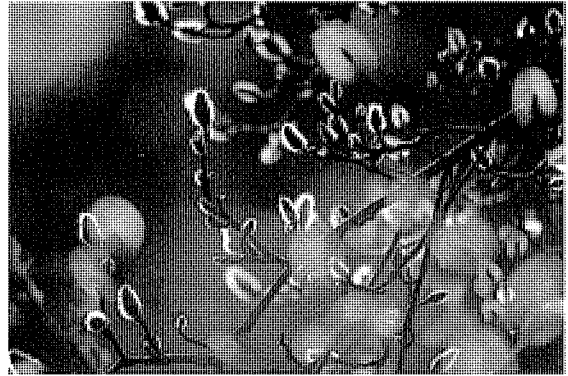
【アマゴ】
イワナ・ヤマメとともに日本の渓流魚を代表するサケ科の魚で、体側に小判型の模様と紅色の小さな斑点が並びたいへん美しい魚です。一生を川で暮らすものと、一度海へ降り再び川に遡上する個体があります。降海型はサツキマスとも呼ばれ、長良川が有名です。

【シロザケ】
シロザケは、別名サケ、アキアジトキシラスなど、さまざま呼び名はあるものの、通常サケといえば本種を指します。日本系のサケは、ほとんどが人口ふ化種苗の放流によって維持されています。

(絵:ケンゴ)



写真と文 遊方子



ネコが来る

◆早春の花。ネコヤナギに陽が当たり、奮い立つような春の喜びを感じる。ふくらした柔らかさを、猫の尻尾に譬えたという和名で、ネコと直接の関係は無い。猫は自分の縄張りがあるため、行動範囲が決まっているからネコ同士が鉢合わせすると争いになる。春の季語に《猫の恋》がある。牝ネコをめくつて、互いに睨み合い唸り声を上げ、少々追っ払っても頓着しない。人を怖れず、雨風も怯えず、餌を摂ることも忘れて、ロクに家に寄り付かない。そして何日かして痩せこけて戻ってくる。ゴミの集積場。ビニール袋が破られ、生ゴミが散乱する。これはネコを憎むよりも、餌となるゴミを出す方に責任がある。ネコを追いかけるには猫の声が最もいいとか：。◆相手が好意的である場合、暗黙のうちにも何となく判るものがある。ネコの何が嫌かといえば、あちこちマーキングし、暗がりから暗がりへコンコン入り込む。人の顔色を見て諂い、甘ったれたネコ撫で声を出す。どうにも好きになれない。知人に猫好きがいて、親仔三匹が座敷をウロウロする。餌入れには、いつも食べ切れぬ残り餌がある。それは《猫下ろし》という習性であるけれど、見る度にイヤで溜まらないう。部屋に漂うケモノ臭さも堪(たま)らない。ネコにも嫌っているのが判るのだろう、少しも近づいて来ないから大いに助かっている。

◆アメリカン何とかを、数週間預かって面倒をみた。元気に駆け回るため、座敷に毛が抜け落ち、いくら掃いても細い毛が目について閉口した。外を歩いて来て、そのまま畳や絨毯の上を歩くから、不衛生なこと極まりなく気を病んだ。愛猫家というのは、こうした事に頓着しない人達なのだと思うている。飼猫を座敷に上げる習慣は、いつ頃から始まったのか。本来、猫はネズミを捕らせるため導入された獣だった。今では、その誇りも忘れ、食っちゃ寝、食っちゃ寝をしているばかり。しかし、実際に飼猫がネズミを銜えて来たら、愛猫家も逃げだすのではあるまいか。

◆江戸時代、本所に住む老婆が三十四匹のネコを飼っていた。とても欲が深く、他人のものでも横取りする性癖があった。人は《猫婆》と呼んだ。これをネコババの語源というが、排泄物を隠す習性から生まれたとも言われている。そのネコ独特の習癖が騒ぎの発端になった。ペット飼育を禁じている団地の小公園。その砂場で遊んでいた幼児が、猫の糞を掴んだのである。母親は憤慨して怒り散らし、自治会長は飼主を捜して厳重に対処すると騒いだ。大山鳴動。団地外のノラネコと判った。砂場は人気失墜、子供らは遊ばなくなり一件落着。現代の住宅地は、砂土のある所が皆無だから、猫は排泄処理に難儀する。飼育のための人工砂を売っているが、それはノラには全く無関係である。

但馬地区漁業協同組合合併推進協議会」設立

たくましい但馬の 漁業・漁協をめざして

去る二月二十九日但馬水産技術センターにおいて、第一回但馬地区漁業協同組合合併推進協議会が開催されました。

本協議会は、但馬地区の5組合が、一昨年十月より約一年あまりの間、研究会を組織して、合併を想定した事業構想等の検討を行った結果、合併を前提に、より具体的事項について協議を進めることで一致したため、組織を改編したものです。

当日の協議会では、合併研究会長である吉岡組合長（JF香住町）が、「研究会設立より約一年間にわたり協議を行ってきましたが、但

馬においては市町合併の協議が進んでおり、

漁協合併についても何とか平成十八年度中には合併に結び付けたいと考えています。難問山積の状況ではあるが、県、市町の助言と系統の協力を頂きながら委員同手を取り合つて乗り越えていきたい。」と挨拶のあと、県水産課長（藤澤課長補佐代読）より「但馬地区の漁協組織が二つになることで、新たな事業展開に期待がかかる。県三局も出来る限り支援していききたいと考えており、ぜひとも合併に結び付けて頂きたいと期待します。」と述べられました。

協議会のメンバーは、研究会から引き続き、

各JFの組合長をはじめとする役員四名、県

水産課長、県但馬水産事務所長、JF兵庫漁連常務と、今回新たに就任された各市町水産担当課長（出張所長）の計二十七名で構成され、協議会長にはJF香住町吉岡組合長、副会長にはJF竹野浜、右田組合長が、それぞれ研究会から引き続き就任されました。日本海沿海の各府県では、組織の強化と事業の効率化を目指した、二県一漁協構想が進められており、他方、日韓漁業交渉についても民間レベルでの協議が鋭意続けられています。目標の平成十八年度中に合併が実現すれば、組合員数約二千五百名（正・准計）、年間販売取扱高百億円規模となり、県内はもとより、日本海沿海地区のリーダーとして、社会情勢の変化に柔軟に対応できる、たくましい漁協が誕生することが期待されています。

JFグループひよっこ企画調整室



挨拶をされる吉岡会長



キャンペーン

情報

いつもありがとうございます。
JF兵庫信漁連では、皆様のご愛顧に感謝して
次のキャンペーンを実施いたしております。
(一部店舗を除きます)

た

『年度末金利×2+α』キャンペーン

◆キャンペーン期間◆

平成十六年二月十六日(月)～三月三十一日(水)

- ① 期間中、新規にご契約いただきました定期貯金(二十万円以上・一年)につきまして、通常の二倍の金利でお預かりいたします。
- ② なお、その場で当たるスピードくじをご用意!!

※店舗により取扱い及びキャンペーン期間等が異なります。

か

『ご入学・ご就職お祝い』キャンペーン

◆キャンペーン期間◆

平成十六年二月十六日(月)～三月三十一日(水)

- ① 対象商品は、『教育ローン』・『マイカーローン』です。
- ② 期間中、融資金利を最大1%優遇いたします。

↑二月九日現在最優遇金利↓

●教育ローン	1.55%
●マイカーローン	2.85%

※店舗により取扱い及びキャンペーン期間等が異なります。

つ

誕生!『マリンクレジット

ロードサポート24』キャンペーン

◆キャンペーン期間◆

平成十五年十一月一日(土)

～平成十六年三月三十一日(水)

- ① マリンクレジットにロードサービスが付いた新しいマリンクレジットができました。
- ② 年会費は千七百五十円。同様サービス他社と比較して二千円以上も負担が少なくサービスもお得。

- ③ 期間中、信漁連窓口でマリンクレジットロードサポート24を申し込むと「緑のおくりものポイント」を申込者全員に199ポイントプレゼント。(200ポイントで五百円相当のギフトカード・図書券等と交換できます。)

- ④ 入会後、三ヶ月以内のカード利用金額に応じて図書券・ギフトカード等を還元。

- ⑤ ロードサポート24とETCカードを同時に申し込むと、ETCカードの初年度年会費が無料。

※ 既存のマリンクレジットから『マリンクレジットロードサポート24』への切替申込みも大歓迎!詳しくは窓口まで。

『JFマリンクレジットバンク』が機能アップ!

- ① パソコン・携帯電話にてご利用いただいております漁協系ネットバンクキング『JFマリンクレジットバンク』の残高照会、振込・振替サービスに加え、新たに「税金・各種料金の払込サービス」を平成十六年一月十九日(月)より開始いたしました。

- ② 「税金・各種料金の払込サービス」は、行政手数料やNTTドコモの携帯電話料金等をJFマリンクレジットバンクを利用していつでもどこでも簡単に支払うことができます。

- ③ 支払可能な料金はサービス開始当初限られていますが、今後、電気料金、ガス料金やインターネットショッピングのお支払い等順次拡大していく予定です。

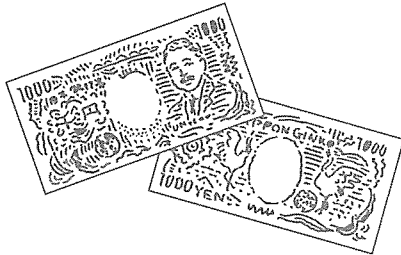
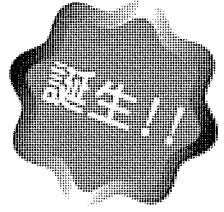
- ④ 利用手数料は無料、是非この機会に『JFマリンクレジットバンク』の申込みを!

詳しくはJF兵庫信漁連窓口まで。





ロードサービス付 マリンクレジット



◆同様サービス実施のA社の年会費と比べて二千円以上もお得です。

◆通常のマリンクレジットカードより五百円高い千七百五十円。

年会費

くらべて安心、入って納得の
マリンクレジット

漁協系統の「マリンクレジットカード」に24時間・年中無休のロードサービスが付いた「新マリンクレジットカード」へロードサポート24が誕生しました!!

	入会金	年会費		備考
		本会員	家族会員	
ロードサポート24	なし	1,750円	1,000円	消費税別
A社	2,000円	4,000円	2,000円	消費税込

24時間ロードサービス

故障車の現場対応可能な応急修理、バッテリーあがり、レッカーサービス(10km内無料)、ガス欠、鍵閉じこみ開旋、スペアタイヤ交換など

アフターフォローサービス

◆レンタカーサービス
代替車輻として、指定のレンタカーを手配、六時間まで無料

緊急宿泊費用サポート

自宅から直線で100km以上離れた場所での故障・事故の場合で、宿泊を要する場合、一人あたり二万五千円まで宿泊費用を負担

帰宅費用サポート

自宅から直線で100km以上離れた場所での故障・事故の場合で、電車、タクシー、バス等を利用して帰宅する場合、一人あたり二万円まで帰宅費用を負担

その他サービス

◆リサイクルカーサービス

◆車検サービス

◆その他優待サービス



「マリンクレジット

ロードサポート24」

キャンペーン

誕生!

～平成十六年三月三十一日(水)

誕生!

●ポイントプレゼント

キャンペーン期間中に「マリンクレジットロードサポート24」にご入会いただくと、お好きな商品に交換できる「緑のおくりもの」ポイントを199ポイントプレゼント!!

※「緑のおくりもの」はカードの利用金額に応じて自動累積されたポイント(千円につきポイント)を200ポイントからお好きな商品に交換します。

●初回ご利用プレゼント

マリンクレジットにご入会後三ヶ月以内のカードご利用金額に応じて、一万三万・五万・十万円の四つのコースを用意。各コースの10%相当の図書券、ギフトカード等を進呈いたします。

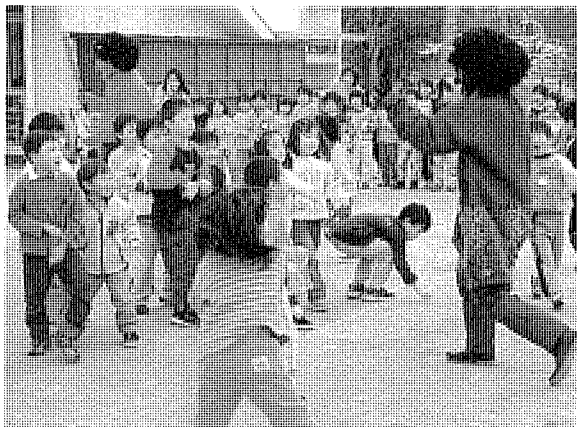
ご応募はカード送付時に同封の応募用紙をご使用ください。



「兵庫のり」消費拡大キャンペーン

節分行事 各地で”兵庫のり”大好評

JF兵庫漁連では、おいしくて栄養豊富な「兵庫のり」を知ってもらおうと、去る2月2日、3日の両日、神戸市、明石市内計6ヶ所の幼稚園にて「節分祭」を行いました。お魚ボーイ、お魚ガールと一緒に魚・のりについての勉強をし、豆まきでは、赤鬼・青鬼に力いっぱい豆を投げました。



最後は、一人一人に焼きのり、風船のプレゼントをしました。園児のかわいい笑顔が印象に残り、のり、魚の普及PRにつながるたいへん良い行事となりました。

又、関西地方に昔からある「節分の夜、恵方に向かってのり巻きを丸かぶりすると幸運が訪れる」という風習にちなみ、兵庫県海苔問屋協同組合（山口 顕理事長）が今年も2月3日、阪神・播磨・淡路各地域の母子生活支援施設や児童養護施設など30施設、約2,800人にのり巻きセットを届け、“今年も良いことがありますように”と激励しました。

こののり巻きセットは、漁連が提供した兵庫のりと問屋協が準備したすし飯や具材一式がセットされ、問屋協組合員が手分けをして各施設に届けられ、節分の夜は、各施設とも子供たちがお母さんや施設の職員さんに手伝ってもらいながらのり巻きを作り、恵方に向かって一斉に丸かぶりするほほえましい光景が見られたとのことで、子供たちからもたくさんお礼の手紙が届いています。

この「節分にのり巻きを丸かぶりして幸運を呼び込む」という風習の由来は様々です。一つは、豊臣秀吉の家臣で堀尾某という武将が、出陣の前に家族や郎党とともにのり巻きの丸かぶりをして戦場に赴いたところ、連戦連勝を続け、秀吉の側近にまで出世したという。のり巻きを食べたのがたまたま節分の日だったことから、幸運を呼び丸かぶりが風習として残ったという説や、江戸時代末期か明治の初め頃、大阪・船場の商家が「商売繁盛」「無病息災」「家内安全」を祈願して、旧暦で季節の変わり目にあたる節分に、前年の災いを払い、新しい年の幸運を祈る一種の厄払いとしていたことが、風習となったという説もあります。

又、巻きすしを鬼の金棒に見立て、「鬼はそと、福はうち」と豆をまくことと同じように、丸かぶりして鬼退治をする意味もあるといわれています。

関西地方で始まった「開運丸かぶり」の風習は、バレンタインデーとは違い、一般家庭の幸運を招く節分行事として今や全国に広まってきています。お寿司屋では節分の前々日くらいから一人で千本以上巻くといわれるほど、職人泣かせの風習ですが、節分の夜こそ、日本列島「のり巻き総丸かぶり」で健康・安全・安心そして平和な社会が訪れることを願いたいものです。



施設の子供たちより
たくさんのお礼の
お手紙が届きました。



兵庫県からのお知らせ

第29回 全国育樹祭 について

兵庫県では平成17年秋に、活力ある森林育成の気運の高揚を図り、次代への連帯性を深めるため、全国育樹祭が下記のとおり開催されます。

全国育樹祭は昭和52年から毎年秋に開催されている緑化行事で、全国植樹祭で天皇后両陛下がお手植えされた樹木を皇族にお手入れしていただくほか、各種表彰行事、全国緑の少年団活動発表大会などの行事を予定しています。



全国育樹祭の概要

主催：(社)国土緑化推進機構、兵庫県
 時期：平成17年秋季
 会場：お手入れ行事
 神戸市垂水区「小東山県有林」
 (昭和29年第5回全国植樹祭お手植え地)
 式典行事
 三田市「県立有馬富士公園」

大会テーマ

も
 萌える緑にひろがる未来

ムラオカタクシ
 村岡孝司(61才) 柏原町在住/会社員

ポスター原画



ハマサキユウヒ
 濱崎雄飛(8才)
 加古川市在住
 加古川市立
 野口小学校3年生

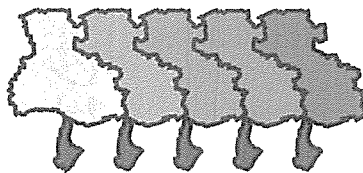


大会テーマ、シンボルマーク、 ポスター原画の決定

第29回全国育樹祭の広報に活用する大会テーマ、シンボルマーク、ポスター原画を平成15年7月～9月末までの間、県内に居住、通勤・通学する小学生以上の方を対象に公募したところ1,363点の応募をいただきました。

これらの作品について、第29回全国育樹祭開催準備連絡協議会で審査を行った結果、右記のとおり決定しました。

シンボルマーク



オノ メグミ
 斧 恵(40才) 小野市在住/主婦

春の風物詩

イカナゴ

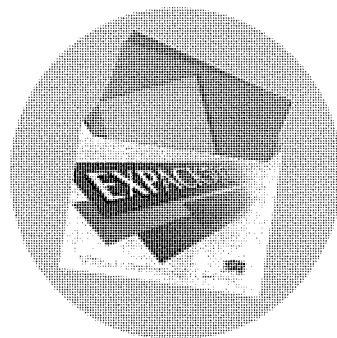
いよいよイカナゴ新仔漁が始まりました。兵庫県瀬戸内海の風物詩「イカナゴのくぎ煮」を炊くご家庭も多いのではないのでしょうか。たくさん炊いて親戚や知人に送りたいけど、送料がかさむのが悩みの種。そんな方もいらっしゃるのでは？

そこで、イカナゴのくぎ煮を送るのにお得な情報をお知らせします。

まず、兵庫県下の郵便局では、各家庭で作ったイカナゴのくぎ煮を全国へ配送できる「エクスパック」を販売中です。全国どこへ送っても、いくら詰めても500円！集荷も無料です。発送後は「追跡サービス」で配達状況をご確認いただけます。神戸市内の郵便局では、「イカナゴくぎ煮」料理教室を開催するなど、家庭の味・地域文化伝承のお手伝いに積極的に取り組んでいます。※詳しくはお近くの郵便局までお問い合わせください。

また、他の宅配業者でも「いかなごの宅配便」等の取り扱いをしています。

郵便局でお渡ししているシール



2月11日、朝から外食チェーンの「吉野家」から名物の牛丼が消えたというニュースが報じられた。米国产牛肉のBSE問題や鶏肉など鳥インフルエンザ問題が立て続けに発生し、外食産業各社が原材料の確保に奔走したり、販売戦略の変更を余儀なくされる姿が全国を駆け巡った。食料の6割を海外に依存している我が国の食糧事情を考えると、食卓を直撃する国際情勢には敏感にならざるを得ない。

農林水産省が発表した農産物貿易に関する世論調査でも、国民の78.4%が将来の食料供給に不安感をもっているという。牛肉、鶏肉など一連の騒動は今日の日本の食文化に警鐘を鳴らすものであり、消費者に輸入農産・水産物の現状や食料自給率に関心をもってもらいたい機会ではないか。

カロリー換算による日本の食糧自給率は40%、40年前には約80%を占めていたという。ちなみに、経済協力開発機構(OECD)に加盟する先進国30カ国ではオーストラリア280%、カナダ161%、フランス132%、アメリカ125%、イギリス74%等々で日本は28番目(アイスランド、オランダが続く)と極めて低い。

我が国の自給率低下の背景には様々な要因がある。戦後、アメリカが自国の農産物売るために占領政策で食の欧米化を進めたのかどうか判らないが、国民の西洋文化の許容能力や順応力が経済発展を下支えたことは確かであろう。穀物生産や畜産に不向きな気候風土のなか、経済の急成長で生活水準が向上し、女性の社会進出や生活スタイルの多様化、食の簡便化等々衣食住のグローバル化が進み、欧米志向の風潮や文化・食習慣に慣れ親しみ、日本の伝統的な食文化は希少価値化してきている。

世界では、現在でも約8億人の人々が飢餓や栄養不足に苦しんでいるというが、我が国では米と魚を中心に、多様な食品をバランス良く摂取できる「日本型食生活」が減り、脂質の摂取過多など栄養バランスの崩れによる国民の健康への影響が懸念されている。

厚生労働省の調べでは、糖尿病の患者は平成11年で212万人。10年前からみて約2倍に増えている。又、糖尿病疑似者は740万人、

高血圧患者は719万人という。栄養バランスの崩れや脂質過多食生活の現状を物語っている。又、消費段階における食べ残し・廃棄など食品ロス率をみると、外食部門で結婚披露宴(23.9%)や宴会(15.7%)でのロスが圧倒的に高く、次いで旅館(7.2%)、飲食店(平均3%)。家庭消費では平均7.7%の食べ残し・廃棄があり小所帯ほど廃棄率が高く、また、高齢者がいる家庭と高齢者がいない家庭では、高齢者のいる家庭の方が廃棄率が低いという。食品の流通・消費の面で食料資源の無駄が大きく、反省させられる。

世界中から食料をかき集めている日本が、今、一番求められるのは、食料安保の観点から「自給率を高める」ことだろう。代表的な朝食メニューの食料自給率を例にみると、アジの干物・おひたし・みそ汁・ご飯という和食で自給率は85%、オムレツ・サラダ・紅茶・食パンメニューで13%と試算されている。自給能力や健康面から我が故郷のコメ・魚を食材に日本型食生活への回帰を強く訴えたい。

小泉首相は「外国の農産物が日本に入ってくるのを止める農業鎖国は出来ない。どういう構造改革が必要かを考える」と発言している。自由貿易協定(FTA)交渉を進めるため、農業分野の構造改革を進めようという意欲を示す発言だが、農産物の輸入自由化を進めれば、食料自給率がさらに低下するジレンマもある。既報の通り、メキシコとのFTA交渉は豚肉、オレンジ等で協議が整わず越年しているが、昨年12月開始した韓国との政府間交渉は、2月に2回目の協議が予定され順調を窺わせる。アセアン特別首脳会議でもFTA協議の開始が合意され、タイとは先月17日第1回目交渉を終え、次回は4月と決められている。マレーシア、フィリピンとの交渉も動き始めた。

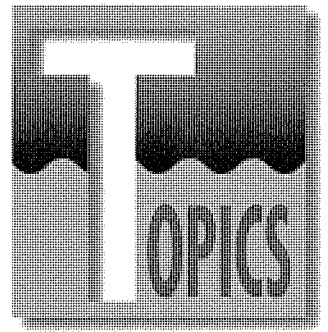
FTA交渉の進展は、日本の農水産業の根幹を脅かすものであり、食料安全保障に関わる重大な問題である。国民が食料の自給率に関心を高めつつある今こそ、私たち漁業者は結束して日本の漁業・漁村を守る世論喚起に知恵と力を傾注しなければならない。

(JF兵庫漁連)

FTA交渉は食料自給率の低下を加速



行事予定 <変更になる場合があります>



JF兵庫漁連	
3月 13日(土) ~14日(日)	のり養殖基本問題検討会視察 (愛知)
16日(火)	第10回のみ入礼会
19日(金)	15:00~ 兵庫JCC第2回幹事会 (県民会館)
23日(火)	13:30~ 全漁連・信漁連・指導連 専務参事会 (コープビル)
27日(土)	第11回のみ入礼会
29日(月)	14:00~ 理事会 (水産会館)
4月 10日(土)	第12回のみ入礼会
4月 23日(金)	第13回のみ入礼会

JF兵庫信漁連	
3月 18日(木)	連合会常勤監事研修会 (コープビル)
23日(火) ~26日(金)	全漁連監査 (信漁連会議室)
26日(金)	13:00~ 理事会 予定 (水産会館)

JFぎよさい兵庫	
3月 29日(月)	11:30~ 正副組合長会 (共済会議室) 13:00~ 理事会 (水産会館)

JF兵庫漁連・JF兵庫信漁連・JFぎよさい兵庫	
3月 22日(月)	10:30~ 3団体役員報酬審議委員会 (水産会館)

JF共水連兵庫	
3月 11日(木)	16:00~ 農水研役員会 (大阪)
24日(水)	11:00~ 正副本部長会 (共水連会議室) 13:30~ 運営委員会 (水産会館)
25日(木)	10:00~ 共水連臨時総代会 (コープビル)

基金協会	
3月 12日(金)	13:30~ 理事会 (水産会館) 役員報酬審議委員会 (基金協会事務所)

但馬漁保	
3月 11日(木)	13:30~ 理事会 (但馬漁業センター)
23日(火)	13:30~ 制度調査委員会 (漁船保険中央会)

ひょうご豊かな海づくり協会	
3月 30日(火)	PM~ 理事会・評議員会 (水産会館)

振興基金	
3月 30日(火)	10:30~ 理事会 (水産会館)

その他	
3月 13日(土)	13:30~ 瀬戸内海環境保全協会理事会 (ラッセホール)
16日(火)	13:30~ 新生兵庫役員会 (Hゴーフル)
25日(木)	14:00~ 淡路水交会 第27回通常総会 (淡路水産センター)

各地のおもなイベント情報

第6回浜坂みなとほたるいか祭り

4月10日(土) 9:00~12:00

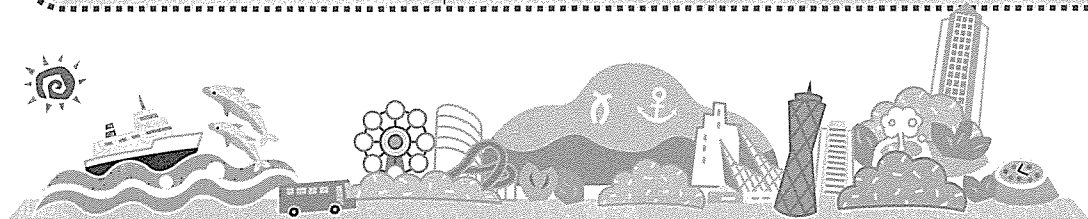
- ◆場 所：浜坂町浜坂漁港せり市場
- ◆問い合わせ：浜坂町観光協会 0796-82-4580

淡路花祭2004

花博の跡地を中心に春の美しい草花で各園内をアレンジメント!
また“花”をテーマにした参加体験型の楽しいイベントも同時開催。

3月下旬~5月下旬予定

- ◆場 所：淡路町・東浦町
- ◆問い合わせ：淡路花博記念事業協会 0799-75-2100



酒米“山田錦”の主産地・ JAみのりで行われた

加藤登紀子 日本酒の日コンサート

酒米“山田錦”の主産地・JAみのり(みのり農業協同組合)では、山田錦をPRし、日本酒の消費拡大を図ろうと、各地でさまざまなイベントを開いています。

産地の一つである多可郡中町では、毎年、山田錦専属歌手である加藤登紀子さんを招いて、コンサートを開催し、11年続いています。

当日に会場で限定販売されるオリジナルブランド酒も、毎年作られます。

原料は中町産の山田錦で、栽培は地元のボランティアスタッフがいき、田植えや稲刈りに登紀子さんが参加することもあります。

銘柄名は登紀子さんが命名し、直筆のラベルを作成。

今回の酒名は、ご主人への思い入れを込めて「ひとりぼっちはひとりじゃない」と名付けました。

コンサートには、県内各地や近隣府県から約2,000人が来場し、登紀子さんが日本酒のグラスを片手に、代表曲「百万本のバラ」や「花筐(はながたみ)」を熱唱すると、会場全体が歌声に酔いしれました。

登紀子さんは、来年も山田錦の町・中町に来ることを約束して、コンサートの幕を閉じました。



盛り上がった「加藤登紀子日本酒の日コンサート」

生協における コンプライアンス経営について 協同組合研究会を開催



2月19日(金)14時～16時、兵庫県民会館において兵庫県生協連「協同組合研究会」を開催し会員生協役職員など32名(10生協)が参加しました。

この間の食品偽装問題をはじめ企業の不祥事が相次ぐ中、コンプライアンス経営の重要さが高まっています。そのような情勢を踏まえ、今年度は「生協におけるコンプライアンス経営について」を取り上げ、京都産業大学法学部教授、前内閣府国民生活審議会委員の坂東俊矢氏を講師に「コンプライアンス経営と消費者～新しい消費者政策に対する生協の役割～」をテーマにご講演いただきました。

講演では、これまで行政と事業者が主人公であった消費者保護型から、21世紀においては消費者と事業者が主人公の消費者権利型の社会になっていくことを前提に、事業者が消費者に果たす役割について事業者の自己責任体制の確立と情報公開が必要であることや、自主行動基準の制定については、経営の理念・創業の精神を再確認し、生協は誰のためにあるのかということを考えてうえでガイドラインを作っていくことの必要性など、またそのことを消費者にもわかりやすく公開することの必要性についても述べられました。終了後の参加者アンケートからも「決してやさしくないテーマをわかりやすく話していただき勉強になりました。」「具体例も盛り込まれ大変参考になった。」などの感想をいただくなど実り多い研究会となりました。

こちら海です

毎週日曜日 12:00~放映中

祭さゆっぱい春の海(仮題)

<和歌山県 日高郡 印南町>

3月14日(日)放送

待ちに待った春の到来です。印南町を訪れた猿渡リポーターは、春の陽気に誘われて「海」を満喫します。

まずは、町が行う「活性化活動・いなみ五感体験」のひとつ「観光さし網」。漁師さんと一緒に船に乗り、沖合いに仕掛けた網をあげます。

そして、港に戻って掛かった魚を網からはずします。

子供から大人まで楽しめる観光漁業体験は人気です。

次に体験するのは「イサキ釣り」。印南町といえば釣りの好ポイントとしても有名です。

中でも「イサキ」は、年中楽しめ、未経験者でも簡単に釣ることができます。

条件さえ良ければ一人で3ケタの「イサキ」を釣り上げることあるとか…。

さて、猿渡リポーターの釣果は？

そして、黒潮の恵みをうけた印南町ならではの情報を入手。町の釣り仲間と運営する「グレダービー」なるイベントがあるという。

期間を設け、釣り上げた「グレ」の大きさを競い合う大会らしい。

詳しく聞いてみると何とときょうが最終日。夜には表彰式があるらしい。

釣りが趣味でもある猿渡リポーターは、最終日の限られた時間で優勝を狙おうと、グレ釣り名人の指導で早速チャレンジ。さて、結果はいかに？

3月28日(日)放送分をもちまして「こちら海です」は、番組を終了させていただきます。
長い間、ありがとうございました。

編/集/後/記

イカナゴ漁が解禁になった。
ちょっと難しそうな「くぎ煮」。
レシピをみたり、料理教室を
のぞかせてもらったりした。
ちょっと、自分にも出来そうな気がしてきた。
今年は初チャレンジしてみます。



ポイントに知ってる? こっそり覚えよう! 兵庫のさかな



今月のさかな

イダコ

標準和名: イダコ

分類: 八腕形目マダコ科

マダコやミスダコと同じ種類に分類されるイダコは、淡い黄褐色で、大きくなっても30センチ足らずの小型種です。北海道から九州まで、水深10〜20メートルほどの浅い砂地の海底に棲息します。足の長さがすべて同じで、両目の間にある長四角形の模様と、腕の付け根にある黄金色をした直径7ミリほどの2つの目玉模様(眼状紋)が特徴です。驚くと体が平たくさせ、この目玉模様を見せて敵をおどします。

頭のように見える膨らんだ部分が実は胴体。産卵前のメスは、ここに長円形をした卵をいっぱい抱えています。その大きさ、形が飯粒にそっくりなことから「イダコ」と名づけられました。当然卵を持ったメスは「子持ち」ではなく、「イイ持ち」と言われます。「イイ」にはもちとした独特の味わいがあるため、メスが圧倒的に高価で取引されます。一方オスは「スポ」と呼ばれ、メスに比べて値段は格安。しかし、卵に栄養をとられていないため、身がしっかりと、やわらかくおいしいという声もあります。

1月頃からメスの卵巣にある卵が成熟し始め、胴体がはち切れんばかりに膨らんできます。3〜4月になると大型の貝殻やカキ礁の間などに卵を産み付けます。小さい親の体の中などに卵を産み付けます。小さい親の体とは逆に卵はとても大きく、直径5〜6ミリもあります。産卵数はわずか300〜400粒程度。マダコが小型の卵を十数万個も産卵するのと比較すると、その差は歴然としています。産卵後は40〜55日でふ化しますが、卵が大きい分、生まれる子どもも大きく、約1センチもあります。すでに吸盤もついているきなり海底生活を始めます。その後も駆け足で成長を続け、産卵後わずか1年という短い一生を終えます。

栄養面は他のタコと同様、低カロリーでミネラルやビタミンのバランスが良く、肥満や成人病予防に最適です。また血圧やコレステロール値を下げる働きがあり、高血圧や動脈硬化予防に効果があるといわれるタウリンが豊富です。

ところで、イダコはラッキョウが大好物というのをご存知ですか? といっても、もちろんラッキョウを食べるという意味ではありません。実はイダコにはラッキョウの他にも白い陶器、白いねぎ、白い疑似餌など白いものに興味を示すという習性があります。この習性を利用して、昔からイダコ釣りの仕掛けにはラッキョウが使われているそうです。東京湾では塩漬けにしたラッキョウをタテふたつ割りにしたものを釣り餌にしてイダコを引き付け、抱きついたところを針で引っ掛けて釣り上げるとか。

まだ少し寒く、春が待ち遠しいこの時期だからこそ楽しめる、コクのある「イイ」独特の味わい。煮つけやおでんなどで楽しむのが一般的ですが、塩焼きもかなりイケるとのこと。是非お試し下さい。

アイデアで勝負!

チームワークが 支える 育てる 漁業

うちの 漁協!

No.11

JF南淡



鳴門のうず潮で有名な南淡町。ゆるやかに弧を描く美しい砂浜が広がる阿万海岸。山の斜面に可憐な黄色の水仙が咲き誇る灘黒岩水仙郷など、魅力あふれる自然景観が広がります。

降水量が少なく、冬は温暖で夏は乾燥する気候特性を活かし、みかんやびわの栽培も行われています。また、高い波が打ち寄せる浜辺は、サーフィンをする若者に人気です。

眼下に雄大な瀬戸内海を見下ろす場所に南淡漁業協同組合があります。管轄地区は灘(なだ)と阿万(あま)、大きく2つの地区に分かれ広範囲に及びます。当然漁場も広く、約30キロの広さがあります。

主な漁法は船曳き網漁と定置網漁。船曳き網漁ではシラスとイカナゴ、定置網漁では主にアジ、タイ、ヒラメなどを獲っています。漁法も灘と阿万それぞれ特徴があり、灘地区では定置網漁が多く、阿万地区では建網漁、たこつぼ漁、底曳き網漁なども行われています。また、阿万ではメイタガレイや伊勢エビがあがるなど、獲れる魚も若干違いがみられます。



これだけ広範囲でしかも特徴の違う地区をまとめるのは難しいと思われるかもしれませんが、心配には及びません。それを可能にする組合員の理解の高さと、結束の固さがJF南淡の自慢のひとつだからです。

組合のまとまりを示す一つのエピソードがあります。鳴門



<漁協メモ>

南淡漁業協同組合
代表理事組合長 前田 吉計
組合設立日：昭和43年3月23日
組合員数：正組合員79名、准組合員32名/計111名
漁獲数量：718.7トン

架橋建設による漁業権の補償問題が持ち上がった時です。実は灘と阿万は同じ組合でありながら、漁業権が異なるという複雑さも抱えていました。このため灘と阿万の補償額に約3倍もの開きが出てしまったのです。この難問を組合長はアツと驚く方法で解決しました。補償金を個人に分配するのではなく、組合が港の上の山を買うために使ったのです。

漁業を営む組合が何故山を買ったと思われるか? そこには組合長の未来の漁業を見据えた深い考えがあったのです。当時、組合長のもとには、「アオリイカが少なくなった」という組合員からの声が届いていました。原因は海の汚染が広がり産卵場が少なくなってしまったことにありました。そこで、イカが卵を産み付けるための産卵場をつくるため、山から柴を切り出し、港へおろしました。港におろされた柴は、ノリのイカリを利用して海に沈められました。こうしてアオリイカの産卵場を人工的に作りだしたのです。

結果は見事にあらわれました。再びアオリイカが獲れるようになったのです。漁協が山を買い、魚たちの産卵場を作り出す試みは、視点を変えた組合長のアイデアとそれに協力した組合員たちのチームワークの勝利です。

また、最近では新たな試みとして南淡の魚のブランド化を積極的に行っています。「砂地ダコ」、「跳ねダイ」というブランドデザインをつくり、商標登録しました。南淡にこられた際は是非、南淡ブランドのダコとタイをお土産にどうぞ。



アオリイカの産卵場



山から柴を切り出す



ノリのいかりを利用して柴を海に沈める



アオリイカの卵



成功!!

招 3 March

JF 発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会 (財)兵庫県水産振興基金

〒652-0844 神戸市兵庫区中之島2-2-1

TEL 078-652-3445 FAX 078-671-6685

URL <http://www.jf-net.ne.jp/hggyoren/>